



新年のごあいさつ

社会福祉法人美唄市社会福祉協議会 会長 高橋 将

新年あけましておめでとうございます。昨年はセーフティネットの一つとして成年後見に係る事業に着手し、市民後見人養成などを行ない、より市民に身近な課題の解決に取り組んでまいりました。本年は第3期地域福祉実践計画のスタートの年となることから、昨年からの町内会アンケート実施、地域福祉懇談会開催や計画推進会議などをおして多くの市民の皆様の声を反映した計画となるよう現在策定しているところであります。本年4月からは新計画のもと「親しまれ、分かりやすく、頼られる」地域福祉の実践団体として市や民生児童委員などと連携を図りながら活動していく所存であります。市民の皆様におきましても本会へのご理解とご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

美唄市共同募金委員会 会長 谷口 トシ

新年あけましておめでとうございます。昭和22(1947)年から始まった共同募金は『赤い羽根』をシンボルとした募金活動として広く国民に定着し、地域福祉を推進する貴重な財源となっております。しかし、ここ数年は募金額が減少していることから、募金付き自動販売機の普及やサポーター宣言をしている「初音ミク」や日本ハムファイターズ関連グッズを活用し、若者層やスポーツファンまでの広範な市民の皆様へ募金を呼びかけ大きな成果を上げております。共同募金会では東日本大震災などの災害時の支援金の支給(ボラサポ)や「ふるさとサポート募金」(ふるサポ)などの活動も行い「じぶんのまちを良くするしくみ」から「国の内外を良くするしくみ」へと活動を広げております。本年も10月から始まります「赤い羽根共同募金」や12月の「歳末たすけあい募金」に多くの皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

美唄市民生児童委員協議会連合会 会長 本田 和幸

新年あけましておめでとうございます。本会は昨年12月1日の一斉改選に伴い、新しい役員体制により連合会活動に取り組んでおります。一斉改選では新任30名を含め88名が「地域の最も身近な相談相手」として民生児童委員(主任児童委員を含む)を委嘱されました。民生児童委員は子どもからお年寄り、障がい者や低所得等の生活困窮者など幅広い方を対象とし、平常時も災害などの緊急時においても相談者として支援者として活動しております。特に、東日本大震災を契機に災害時における要援護者の把握や安否確認、時には救援といった役割を求められていることから、地域の皆様との情報の共有が益々重要となっております。本年も民生児童委員一同「広げよう地域に根ざした思いやり」を合言葉に活動を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力及びご支援を心からお願い申し上げます。

※※※※※ 本年も何卒よろしくお願いたします ※※※※※



ぼぶらは北海道共同募金会の助成を受けて発行しています

赤い羽根ふわっとチャリティパーティ

ことしも賑々しく開催

毎年恒例となりました「赤い羽根ふわっとチャリティパーティ」が11月22日(金)にぼぶらで開催されました。今年は約230名の方の参加で、バンド演奏などに合わせてダンスや会食などを楽しんで頂きました。また、社協職員によるアトラクションや豪華な景品が当たる大抽選会で大いに盛り上がりました。パーティ参加費や収益金などから約42万を赤い羽根共同募金と歳末たすけあい義援金として共同募金会へ寄付しました。ご協力ありがとうございました。また、当日は美唄身体障害者福祉協会、サポートステーション・ステップ、国際ソロプチミスト美唄による手作りアクセサリなどの販売も行なわれ参加者の多くが足を運び、買い求めていました。

多くの人でにぎわったチャリティパーティ



募金ありがとうございました……

美唄市共同募金委員会

赤い羽根共同募金(10月1日～12月31日)と歳末たすけあい募金(12月1日～20日)の募金額が次のとおりとなりました。美唄市内の地域福祉の推進や全道の社会福祉施設の整備及び災害時の支援金の貴重な財源として活用させていただきます。ご協力ありがとうございます。

◎赤い羽根共同募金(25年12月31日現在) **2,920,994円**

◎歳末たすけあい募金(義援金)(25年12月20日現在) **951,447円**

共同募金委員会では東日本大震災及び台風26号で被害を受けた伊豆大島へ義援金を受付けています。

第1回(平成25年度)美唄市市民後見人養成講座28名受講

9月からはじまった基礎編(2日間7講座)、実践編(3日間8講座)が12月14日に修了し、全講座を受講した13名に修了証を交付しました。この講座は、弁護士や司法書士、公証人等の法律関係者や社会福祉士や福祉施設職員などの専門講師により成年後見制度や市民後見人について、様々なお話をいただきました。

美唄市成年後見支援センターでは修了者で希望する方を人材バンクに登録し、市民後見人として活動してもらうこととされています。今後の活躍に期待します。

最終日にグループで感想などを述べあっている受講者



お知らせ ……詳しくは総務地域課 62-0770

さあ出動!! ボランティア除雪隊…
よろしくおねがひします

今年も正月早々毎日のように雪に見舞われ除雪に苦労されていることと思います。本会では今年も市民参加によるボランティア除雪を行います。ボランティア除雪は市民がともにつながり、支えあう活動の1つとして、多くの市民ボランティアによって玄関先や窓下の除雪を行っています。対象となる世帯は市の福祉除雪・間口除雪及び業者利用や親類、近隣などの援助が困難なお年寄りや障がい者がいる世帯です。

除雪ボランティア大募集・・・あなたの力をちょっとボランティアへ

都合のいい曜日、時間に家族、友達や会社の同僚と一緒に除雪で汗を流してみませんか(随時ボランティア登録受付中です)

大型除雪機と運搬用軽ダンプカーを貸出します

ボランティア除雪の強力助っ人として市が購入し、社協が管理する大型除雪機(13馬力)2台と軽ダンプをボランティア除雪する場合に貸出します。(ボランティア除雪に関する詳しいことは社協総務地域課 62-0770 まで)



機動力を発揮した除雪機(昨年の様子)



熱心に手話の話を聞く子ども達

福祉体験学習

東小学校5年生「え～!こんなに大変なんだー?!」

12月19日(木) 総合福祉センターぼぶらで総合学習の一環として福祉体験学習を行いました。

「福祉について学ぼう」という題目で、生徒75名が「聴覚障がいについて(手話)」、「視覚障がいについて(点字)」、「お年寄りや足の不自由な人について(高齢者)」の3つのグループに分かれて学習を行いました。まず講師から当事者が困っている事などの講話を聞いたり、ビデオレターを鑑賞したあと3グループに分かれ、手話のコースでは、自己紹介を学んだり、点字コースでは、実際に点字器を使って点字入りの名刺作り、高齢者のコースでは、車いすと高齢者疑似体験セットを使った体験などを行い、話を聞くだけでなく、実際に学び、触れ、体験し当事者はどんな事が大変なのか、自分達に何ができるか考えてもらいました。学校外での授業ということもあり、子ども達も楽しみながら体験等を行っていました。また、普段あまり見かけない元気な子どもの熱気にセンター内も活気づいていました。これからを担う子ども達に福祉を知ってもらいたい良い機会になりました。

福祉の学習に関する相談・問合せを受付けております。[総務地域課 清水・土本]

認知症高齢者等家族介護教室

日時: 2月1日(土) 13:30~15:30
場所: 総合福祉センターぼぶら研修室
講演: 「いったいどうなる介護保険のゆくえ」

平成27年度の介護保険制度の改正で要支援者に対する介護サービスを介護保険事業から市町村事業へ移行することが議論されています。認知症は推定450万人とも500万人とも言われています。昨今、多くの市民並びに家族介護者は制度がどのように変わるのか大いに注目しています。今後の動向について、わかりやすくお話ししていただきます。

講師: NPO法人シーズネット
理事長 奥田 龍人さん

美咲市地域福祉推進大会

日時: 3月15日(土) 13:30~15:30
場所: 総合福祉センターぼぶら研修室
基調講演: 「気軽に集える居場所づくり～持続する地域福祉活動の実践を通じて」

登別市のNPO法人「ゆめみ～る」は、地域福祉活動として高齢者や子育て世代が気軽に集える居場所づくりを実践しています。講師は「地域福祉の肝は居場所づくり」として5年前に地域の町内会有志とともに地域食堂を開業、地域のネットワークが広がっている実践例を紹介いたします。

講師: NPO法人「ゆめみ～る」
副理事長 山田 正幸さん

あなたの善意を大切に 社協へのご寄付ありがとうございました

ご芳名	金額	摘要
竹下 道子 様	30,000円	貴会の社会福祉事業に役立ててください
国際ソロプチミスト美咲 様	20,000円	ふれあいバザーの売上げ一部として
匿名 様	10,000円	貴会の社会福祉事業に役立ててください
匿名 様	40,000円	貴会の社会福祉事業に役立ててください
美咲めぐみ幼稚園 様	10,000円	園児の皆さんの小遣いからクリスマス献金として
美咲アカシア幼稚園 様	10,000円	貴会の社会福祉事業に役立ててください
平成25年4月1日～平成26年1月15日までの累計は、		915,199円です

ぼぶら 第56号 2014(平成26)年1月15日発行

発行・印刷 社会福祉法人美咲市社会福祉協議会

〒072-0026 美咲市西3条南3丁目6-2 美咲市総合福祉センターぼぶら内

Tel 0126-62-0770 FAX 0126-62-6996

ホームページ <http://www.bibai.com/shakyo/> Eメール soumu.bibai-shakyo@pipalnet.jp

☆広報紙「ぼぶら」に関するご意見等をお寄せ下さい。

